

# 地区協わかば

発行者: 若葉学校地区協議会  
会長 清水 正孝  
事務局: 調布市立若葉小学校内  
連絡先: 調布市協働推進課  
042(481)7036  
地区協mail:  
wakabatikukyo@gmail.com

## ～地域の歴史 (その2)～

若葉学校地区協議会 会長 清水 正孝さんより伺った、入間川の歴史を紹介します。

深大寺東町八丁目付近(諏訪久保)を源流地として野ヶ谷団地および三鷹市中原を経て調布市東つつじヶ丘、若葉町、入間町糟嶺神社脇と南下し野川に流入している一級河川の入間川。1967年の河川改修で流路が縮小し野川の支流となりました。

現在は総延長5.7kmにわたり、そのほとんどが暗渠(コンクリート製の蓋)となっていますが、かつては「大川」と呼ばれ、農業用灌漑用水として多摩川から取水していた次太夫堀(六郷用水)と喜多見で合流し、蒲田(現大田区)の田畑を潤していたようです。

入間橋、橋場橋、明照院橋、谷戸橋など七つの橋がかけていますが、河川改修以前、入間村当時の川は、良質で豊富な水量を誇り川幅は約2mで深さもありました。芻殻をきれいにするための水車もあり、フナやナマズ、ドジョウ、ヤツメウナギなどがいて魚釣りができ、水の湧き出る釜場や洗い場で野菜を洗ったり、川の両側は土手でその外側は田んぼでしたのでスカンボやギンギンなどの植物が自生し、樫の木を使ってターザンごっこをしたり、たくさんの昆虫もいて昆虫採集ができたりと子どもたちの格好のあそび場にもなっていたようです。

入間川は用水路としての役割だけでなく、当時の人々の生活に欠かせない存在となっていました。

### 参考文献資料

- ①調布市文化財調査報告書「調布の古道・坂道・水路・橋」調布市教育委員会、平成13年12月10日発行
- ②東京の水 2009 fragments [tokyoriver.exblog.jp]
- ③東京の河川 [(C)2005kasen.info]
- ④ウィキペディア 入間川(多摩川水域)

(広報・地域交流推進委員 儘田 はるみ)



昔の入間川

### ●●●わかば学童クラブから●●●

誠に私事で申し訳ありませんが、4月に西部地区への異動となりました。若葉学校地区には5年半お世話になったこととなります。今まで何度も異動をしてきましたが、ここまで地域と密接に関わることがありませんでした。ここでの経験を異動先でも生かし、子ども達にとって「良い地域の一人」になれるよう努めてまいります。今までありがとうございました。若葉学校地区がますます発展しますよう応援させていただきます。これからもわかば学童クラブをよろしくお願いいたします。

(調布市立わかば学童クラブ業務責任者 新井 宗弘)

### ●●●地区協議会からのお願い●●●

現在地区協議会では、地域のネットワークづくりをはじめ、防犯・防災等において地域の安全、安心、減災に取り組んでおります。地区協議会に加入されていないこの地域の自治会様はご加入されるようお願い申し上げます。また、個人的にも関心のある方は私たちとともに良い地域づくりにご協力ください。ご連絡をお待ちしています。

メールアドレス:wakabatikukyo@gmail.com

## 救急救命講習会 ～いざというときに備えて～

12月20日(土)朝9時より18名の受講者、2名の講師、2名のサポートの方々により救急救命講習会が開催されました。

受講者はじめ室内の平均年齢がちょっと高いかなという中始まった講習会。お二人の講師のきめ細やかでユーモアたっぷりの説明、実技指導で順番に心肺蘇生に挑戦です。初めのうちは「人工呼吸してるこっちが呼吸困難になりそうだよ」などと言っていた方々も2度目にもなるとコツを収得してスムーズに完遂。さすが意欲満々の方々です。

次なるは高性能医療機器なるAEDに挑戦。音声に従って操作をすると簡単にできて、これなら現実に遭遇しても出来るかも、と思えるところがミソでしょうか。50社以上のメーカーが独自に開発していて子供にも使用できるなど感心しきりでした。

実技のまとめとして最後は寸劇(ロールプレイング)にて、実際に起こりうる場面を想定して役を演じます。3グループに別れて、迷優さん怪優さん続出の名演技を披露して爆笑の渦に。見ごたえ十分でした。

最後は総まとめとしてペーパーテストですが心配いりません。この場面になっても講師の方々のナイスなヒントでサラサラと鉛筆の動く音。その場のセルフ採点にて皆さんほぼ100点にて合格と相成りました。

まだ受講されていない方。自分にも他人にも役にたち、気づいていない演技力が身につく(?)講習会に参加されてはいかがですか!

次回、お待ちしております。

(防災推進委員 宇野 貴美子)



## 防犯関係のお知らせ

### 活動報告

防犯推進委員長 木下 功

平成26年度の台風や豪雨による各地の甚大な被害に、深くお見舞い申し上げます。

防犯委員会としては、定例の月2回のパトロールを学童の通学路、行政の施設（公園・広場・緑地等）で重点的に行ってきました。

パトロールは、レジ袋を持参してのゴミ拾い美化運動をかねており、累計で126名の参加がありました。まだ一部の公園・広場にゴミが散乱している時がありますが、地域の方々の協力を頂き少しでも気持ちの良い施設にして行きたいと思っております。5月～11月には、坂上地域の自転車隊（4名）によるパトロールも8回実施予定でしたが、台風・ヒョウ・雨により6回中止になりました。

また、昨年3月に3ヶ所の公園・広場に「パトロール中」の看板を設置。今後も他の施設等に設置して行く予定です。

これらの活動により、3～4年前より抑止力としての成果が出て来たと思っております。

その他、「若葉の杜の音楽会」、「夏まつり」時に初めて模擬店を出店。各自治会による歳末警戒夜回りにも参加（若葉町自治会・入間町一丁目自治会・若竹自治会）。今後も地域・各団体の協力を仰ぎ、安心・安全第一に活動を進めて行きます。

**\*注意 振り込め詐欺・自転車盗難・空き巣窃盗（多発注意）**



## 防災関係のお知らせ

### 活動報告

防災推進委員長 大嶋 文子

今年度最後の事業として、毎年行う地域めぐりを2月28日（土）に行いました。

地区協メンバー十数人が調布消防署つつじヶ丘出張所の谷山さんの説明を受けながら、火災が発生した時消防車が入れない消火困難地域や、大雨が降ったときに浸水が懸念される野川沿いの地域などを視察しました。また、移動しながら現在地域に設備されている消火栓や水利などのお話も伺うことができました。防災をテーマに楽しいお散歩ができ、質問と笑いの絶えない楽しい時間となりました。災害が起こっても最小限の被害でとどめられるよう、その立地にあった対策が必要となります。まずは、日々の小さな点検から。小さな行動の積み重ねと継続が大きな安全につながります。

2月2日（月）の地区協運営委員会では、東日本大震災の時、福島県いわき市小名浜にお住まいだった武者小路実篤記念館の五十子 認さんに、被災の経験を講演していただきました。壮絶な復旧の戦いを聞かせていただき、このようなことが自分の身に起こるのかと想像しながら、被災した方々へのお見舞いの気持ちと、絆の大切さを改めて考える機会となりました。貴重な経験談をありがとうございました。

地域の皆様のご協力のもと、今年度も無事全ての事業を終えることができました。今後とも宜しくお祈りいたします。



## 「人をつなぐ・地域をつなぐ」

今回は2つの施設と入間川の歴史を紹介します。

### ～至誠ホーム調布若葉ケアセンター紹介～

当センターは平成24年1月に武者小路実篤記念館と若葉小学校との間の閑静な住宅地に開設しました。木造2階建ての耐火建築で、2階に認知症の方々が家庭的な雰囲気でご過ごしていただけるグループホームがあります。

1階には、ケアプランの作成や調整を行う居宅介護支援事業所と、自宅から日中通っていただき、お風呂、食事、運動、趣味活動などを楽しんでいただくデイホームがあります。

開設当初から地域との繋がりを大切にしながら、お隣の学童クラブとの交流、自治会への加入、地域での行事への参加、ボランティア活動に来ていただいたりなど近隣との交流を深めて参りました。

昨年の11月には「至誠ホーム調布バザー」を開催し、模擬店、フリーマーケットなど多くの方々に足を運んでいただきました。皆様方に感謝申し上げますと共に、今後とも地域との絆を大切にしながら皆様方が気軽に足を運んでいただけるセンターを目指して参ります。

（至誠ホーム調布若葉ケアセンター  
センター長 河合 晴夫）



「至誠ホーム調布バザー」の様子

### ～地域包括支援センターつつじヶ丘紹介～

地域包括支援センターは65歳以上の高齢者とそのご家族のための公的な相談窓口です。調布市内に10か所あり、つつじヶ丘では東つつじヶ丘・西つつじヶ丘・入間町2～3丁目を担当しています。

「介護保険の申請をしたい」「配食サービスやオムツ給付などの調布市のサービスを申し込みたい」「いつまでも元気でいたいから介護予防について教えてほしい」「ちょっと気になる高齢者がいる」...そんなご相談がありましたら、ぜひ地域包括支援センターまでご連絡ください！



また、地域の皆様にセンターの存在を広く知って頂くために、お祭りに参加してセンターのPRをさせて頂いたり、介護保険や認知症についての出前講座を開くなどの活動も行なっています。

皆様に信頼される相談窓口になれるよう、今後も頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します！

（地域包括支援センターつつじヶ丘  
センター長 加藤 功）